

MRI や MRA の 画像検査 に 特化 した、

脳の状態や血管の状態を詳しく調べる シンプル脳ドック を新設しました

シンプル 脳ドックコース

25,000^{税込}円

脳ドックは、脳卒中や脳腫瘍などの脳の病気を早期発見し、予防するための検査です。
脳の健康状態を把握することで、生活習慣の改善など、病気の予防に役立てる事ができます。

シンプル脳ドックでわかること

1 脳卒中のリスク

脳梗塞の原因となる動脈硬化や無症候性脳梗塞、脳血管の狭窄の有無、脳出血の原因となる未破裂脳動脈瘤の有無などを調べます。

2 脳腫瘍

脳腫瘍の有無や種類、大きさなどを調べます。
その他、もやもや病、脳動静脈奇形などの脳の病気を調べます。

3 脳萎縮

脳の萎縮の程度を調べ、過去の小さな脳梗塞の有無などを確認し、認知症のリスクなどを評価します。

Q | 頭部MRI検査とは？

脳の断面画像を撮影し、脳腫瘍や脳梗塞などの有無を調べます。

A

Q | 頭部・頸部MRA検査とは？

頭・頸部内の血管を立体的に描出することができ、脳動脈瘤や脳血管の狭窄などを調べます。

A

※ご所属の健康保険組合・共済組合・会社からの助成金を利用している受診予定の方につきましては、健康保険組合指定の検査項目や補助がある場合がございます。本コースが適用されるかにつきましては、ご所属の健保組合・共済組合・もしくは弊院までお問い合わせください。



			コース		オプション	
			単独 脳ドック	NEW ! 単独 シンプル脳ドック	スタンダード 脳ドック	NEW ! シンプル 脳ドック
検査項目	検査内容	検査の目的	55,000	25,000	44,000	25,000
身体計測	健康状態の基本データ取得：身長、体重、血圧、体脂肪率などを測定し、全体的な健康状態を把握します。	疾患リスク評価：肥満や高血圧など、生活習慣病のリスクを評価するためのデータを収集します。	●		人間ドックコースで実施	人間ドックコースで実施
眼底検査	眼底検査は、 目の奥にある網膜や血管、視神経などの状態を確認 し、目や全身の健康状態を評価することです。	緑内障、黄斑変性、網膜剥離、網膜裂孔などの目の病気を早期に診断することが目的です。 糖尿病性網膜症の確認：糖尿病による網膜の血管障害をチェック 高血圧性変化の評価：高血圧による血管の変化やダメージを調べます 視神経の評価：視神経炎や視神経乳頭の異常を確認	●		人間ドックコースで実施	人間ドックコースで実施
心電図	心電図検査（ECGまたはEKG）の主な目的は、 心臓の電氣的活動を測定し、心臓の健康状態を評価 します。	不整脈の検出：心拍のリズムや頻度が正常でない場合を特定します。 心筋梗塞の診断：過去または進行中の心臓発作の兆候を見つけるために使用。 臓の異常の確認：心臓の壁が厚くなっているなどの異常を検出します	●		人間ドックコースで実施	人間ドックコースで実施
頭部MRI/A	頭部MRA（Magnetic Resonance Angiography）は、MRI（磁気共鳴画像法）の一種で、 主に脳の血管の状態を詳しく調べるために使用される検査方法 です。 頭部MRIは、 脳の断面画像を撮影 し、脳腫瘍や脳梗塞などの有無を調べます	血管異常を検出：脳動脈瘤や血管の狭窄・閉塞、動静脈奇形などを早期に発見することが可能になり、以下の疾患の早期発見に役立ち症状が現れる前に異常を見つける事が出来る為予防医療としても重要視されています。 脳卒中 ：脳の血管に突然の障害が起きることで、脳への血流が遮断され、脳の一部が損傷を受ける病気です。 主に以下の2つのタイプに分類 ↓ ○脳梗塞 ：血管が狭くなったり、血栓（血の塊）によって詰まることで、脳への血流が途絶える状態を指します。これは、脳卒中の約80％占める最も一般的なタイプです。 ○脳出血 ：脳内血管が破れて出血する状態です。高血圧や血管異常が主原因。激しい頭痛や意識障害が特徴です。 ※くも膜下出血（脳と頭蓋骨の間のくも膜下腔で発生する出血）も脳卒中の一種	●	●	●	●
頭部・頸部MRI	頭部頸部MRIは、 頭部（脳）と頸部（首）の両方を対象にしたMRI（磁気共鳴画像法）検査 です。 この検査は、頭・頸部内の血管を立体的に描出することができ 脳や頸部の血管や組織の状態を詳しく調べるために行われます。	脳腫瘍、脳梗塞、脳出血、頸動脈の狭窄や動脈硬化などを早期に発見することができた既存の症状（頭痛、めまい、しびれなど）の原因を特定するために行われる 頸部MRAは、 特に動脈硬化や脳卒中のリスクがある方に推奨されています。	●	●	●	●
頸部超音波	頸部超音波（頸動脈超音波検査）は、 超音波を利用して首の頸動脈の状態を調べる非侵襲的な検査 です。この検査は、 動脈硬化や血管の狭窄、プラーク（血管内の脂肪の塊）の有無を確認 するために行われます。 安全で簡便：痛みや不快感がほとんどなく、短時間で行える検査です。 ※日本脳ドック学会では、認知機能検査や頸部エコー検査を含めた脳ドックを推奨しています	動脈硬化の検出 頸動脈の内壁が厚くなっているかどうかを確認し、動脈硬化の進行度を評価します。 早期の発見は心血管疾患の予防につながります。 プラーク（血管内の脂肪やコレステロールの塊）の確認。 プラークの有無や性質を調べて、血流が妨げられていないかを確認します。 プラークが大きい場合、脳梗塞のリスクが高くなります。 血流の測定 頸動脈を流れる血液の速度やパターンを調査し、血管の狭窄や閉塞の程度を確認 脳梗塞リスクの評価 血管の異常を早期に発見することで、脳卒中や心筋梗塞のリスクを評価し、予防対策を講じることができます。 治療効果の評価 頸動脈の狭窄や動脈硬化に対する治療（手術や薬物療法）の効果をモニタリングするためにも利用されます。	●		●	
高次脳機能検査 (長谷川式)	高次脳機能検査は、 脳の損傷や疾患によって影響を受ける高次脳機能（記憶、注意、言語、遂行機能など）を評価するための検査 です。これらの検査は、患者の症状や状態に応じて選択され、リハビリテーションや治療計画の立案に役立ちます。 主な検査内容 記憶検査：記憶力や情報の保持・再生能力を評価します。 注意力検査：注意の持続性や選択性を測定します。 ※日本脳ドック学会では、認知機能検査や頸部エコー検査を含めた脳ドックを推奨しています	神経心理学的なアプローチを用いて行われ、 認知機能の状態 を総合的に把握することが目的です。	●		●	
血液検査			●	血液結果持参 (1年以内結果OK)	人間ドックコース 血液検査で実施	人間ドックコース 血液検査で実施
結果説明			専門医	専門医	専門医	専門医

MRI	T1Ax 5 mm T2Ax 5 mm FRAIRAx 5 mm T2Ax * 5 mm T1Sag 3 mm
MRA頭部	3 DTOF0.4mm 3 DTOF1.0mm